

新潟県

# 公民館月報 7

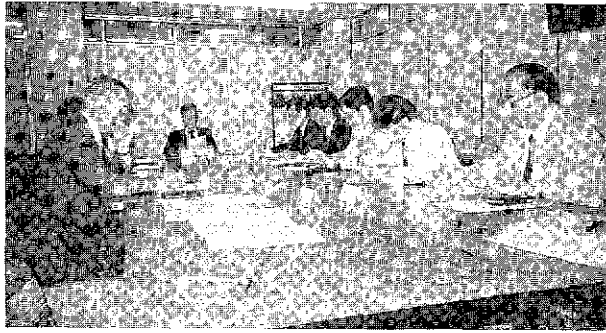
平成12年7月号 通巻第569号



表紙 「よしかわわんぱくクラブの  
ちんころづくりにチャレンジ」  
(吉川町公民館)

資料提供 公民館と行政機関との連携

視点 ニムラはいま先端です＝  
ひろば 先が広がり過ぎる期待と不安  
実践記録 親子ふれあいスクール  
サークル交流 つばさ(見附市今町公民館)  
絵手紙サークル(三島町公民館)  
素顔拝見 平田栄子さん(新潟市)  
遠藤慎之介さん(水原町)



# 第 2 回 理 事 会 開 催

第 51 回 新 潟 県 公 民 館 大 会 に お け る 受 賞 候 補 の 選 考 終 了

## 永 年 勤 続 表 彰 は 十 三 名 優 良 公 民 館 は 該 当 な し

去る 6 月 12 日 ( 月 )、新 潟 市 中 央 公 民 館 で 第 2 回 理 事 会 が 開 催 さ れ た。

主たる議題は、第 51 回 新 潟 公 民 館 大 会 に お け る 優 良 公 民 館 並 び に 永 年 勤 続 表 彰 の 候 補 者 の 選 考 で あ っ た。

あ っ た 公 民 館 は 一 館 も な く、 従 っ て 該 当 な し、 と い う 結 果 に 終 っ た。

一、優 良 公 民 館 の 部 で は、 左 欄 の と お り で あ る。

あ っ た 公 民 館 は 一 館 も な く、 従 っ て 該 当 な し、 と い う 結 果 に 終 っ た。

二、永 年 勤 続 者 表 彰 の 部 で は、 公 運 審 6 名、館 長・副 館 長 3 名、 運 営 委 員・協 力 員 4 名 の 計 13 名 が い ず れ も 適 格 と 認 め ら れ、 全 員 受 賞 と な っ た。

第 41 回 通 常 総 会 は、 去 る 6 月 9 日 ( 金 )、 東 京 ・ 虎 の 門 パ ス ト ラ ル で 開 催 さ れ、 平 成 11 年 度 事 業 報 告、 収 支 決 算、 次 い で 平 成 12 年 度 事 業 計 画 案、 収 支 予 算 案 が 提 案 ・ 承 認 さ れ た。

三、51 回 大 会 は、 県 公 運 創 立 50 年 記 念 式 典 も 兼 ね て 行 う の で、 そ の 式 次 第 に つ い て も 審 議 さ れ た。

## 全 公 連 総 会 開 催 新 会 長 に 大 西 末 廣 氏

ま た 関 連 し て、 県 大 会 に お け る 緊 急 ア ビー ル ( 青 少 年 問 題 ) と 50 年 記 念 原 則 事 表 彰 の 準 備 状 況 に つ い て も 意 見 交 換 が な さ れ た。

連 絡 事 項 と し て、 上 公 連 よ り 10 月 18 日 ( 木 ) 役 職 員 研 修 が 糸 魚 川 市 で 開 催 の 旨、 案 内 が な さ れ た。

## 県 大 会 実 践 発 表 者 事 前 打 合 せ 会

去 る 6 月 26 日 ( 月 )、 聖 籠 町 民 会 館 で、 右 記 打 合 せ 会 が 開 催 さ れ た。( 六 名 参 加 )

各 発 表 者 か ら、 発 表 内 容 の 説 明、 司 会 者 の 方 か ら、 発 表 の 進 め 方、 方 法 等 に つ い て 説 明 さ れ、 後 ス テー ジ 見 学 し て 解 散 し た。

### ◇ 永 年 勤 続 者 表 彰 ( 敬 称 略 )

氏 名	所 属 公 民 館 並 び に 役 職
1 野 村 侃 子	上 越 市 立 公 民 館 公 民 館 協 力 員
2 庭 野 春 枝	十 日 町 市 公 民 館 運 営 審 議 会 委 員
3 遠 田 徳	十 日 町 市 川 治 地 区 公 民 館 運 営 委 員
4 柳 シ ン	十 日 町 市 六 箇 地 区 公 民 館 運 営 委 員
5 池 田 和 子	十 日 町 市 中 条 地 区 公 民 館 中 条 北 分 館 運 営 委 員
6 杉 野 正 作	栃 尾 市 公 民 館 運 営 審 議 会 委 員
7 山 田 年 子	栄 町 公 民 館 運 営 審 議 会 委 員
8 佐 藤 雅 夫	栄 町 公 民 館 運 営 審 議 会 委 員
9 木 村 幸 雄	栄 町 公 民 館 運 営 審 議 会 委 員
10 藤 山 重 雄	与 板 町 公 民 館 運 営 審 議 会 委 員
11 杉 木 勉	畑 野 町 公 民 館 館 長
12 前 田 和 男	畑 野 町 公 民 館 副 館 長
13 佐 藤 義 純	前 糸 魚 川 市 下 早 川 公 民 館 長

### ◇ 新 任 公 民 館 職 員 に お す す め す る ハ ン ド ブ ッ ク 公 民 館 経 営 の 手 引 第 1 集 ・ 第 2 集 実 践 事 例 集 地 域 づ く り と 公 民 館

社 会 教 育 学 級 等 に お け る

### 学 習 計 画 立 案 の 手 順 と 方 法

元 横 浜 国 立 大 学 教 授 吉 川 弘 著

B 5 版 6.2 ペ ー ジ  
各 5.0 0 円 ( 送 料 実 費 )

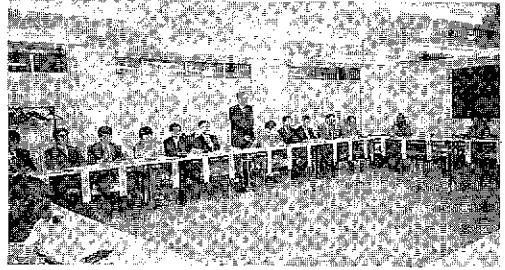
A 4 版 8.8 ペ ー ジ  
5.0 0 円 ( 送 料 実 費 )

B 5 版 4.4 ペ ー ジ  
5.0 0 円 ( 送 料 実 費 )

公 民 館 月 報 ( 個 人 購 読 大 歡 迎 ) 定 価 1 部 150 円 年 共 1,800 円

申 込 先 ② 951-8053 新 潟 市 川 端 町 2-9 県 林 業 会 館 内 県 公 民 館 連 合 会 事 務 局 ☎ FAX 025-224-6073

### 平成12年度新潟市公民館 運営審議会代表委員会議開催



平成12年度新潟市公運審代表委員会議は、6月14日(火)、新潟市中央公民館で開催された。

まず、今年度代表委員会議の議長、副議長の選出に入り議長には斎藤良子氏(中央)副議長に早川克己氏(西)が選出された。

最初の全体会では、(1)公民館関係の黒崎町合併について経過説明がなされ、次いで(2)代表委員会議の検討テーマについて(①公運審制度、②公民館の受益者負担、③公民館施設使用)事務局より提案が

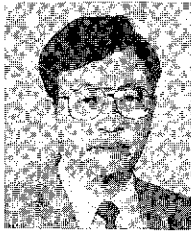
がなされ、また(3)部会設置、(4)会議の方法についても説明がなされた。

その後、各部会別会議に入ったが、私の所属する第2部会では、部会長・副部会長の選出後、すぐ内容の討議に入った。受益者負担制度について、各委員それぞれ立場で賛否意見を述べられたが、あくまでも不毛の議論は避けようという認識の上で立っての発言であり、今後深化拡充するものと思う。地方分権先取り試行の新潟市公運審の展開、今後が楽しみである。

## 視 点

過日、友人から魅力的な村とは、生きがいがかに伝わっている村。子どもに夢を叶える村。こんな眩きを手にした。

当村は、四千三百余人の小山村だが、古くから生涯教育(当時の



を創設し、中核的学習施設となる村立図書館が開館したのである。蔵書数一万六千冊のミニ図書館だが、生涯学習センター、文化・情報発信基地、村民

「村おこしは人づくり」から  
ムラはいま先端です

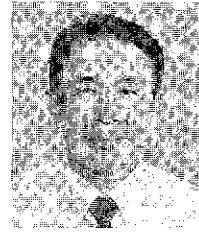
### 横尾 生一

型から先行創造型への政策転換が必要となる。その具現には、何よりも強力な住民パワーの結果が望まれる。そのエネルギー源を

ふれあいの場として、複合施設のメリットを生かして、スケールに見合った諸活動を地道に展開している。これからの分権型社会では、町村部においても、今迄の先例踏襲

送り込む仕事は図書館になる。村の文化度や民度を高め、住民のチエやアイデアを生かし、やる気と実行力を啓発する大切な学習の場である。心豊かな生き方を望むには、ヒトのスケールに見合、ほど良い規模や環境というものがあ。当村には、人間味ある本当の豊かさが多く残っている。その豊かさの味を醸し出す一匙の隠し味を、図書館が請負っている。(蒲川原村立図書館長)

### 先が広がり過ぎる期待と不安 中之島町公民館運営審議会委員 渡 辺 昭 平



過ぎた日、青年学級や青年団と歩いて来たのが、

今から20年も前でした。最近では、青年団も影が薄くなり、公民館から生涯学習と時間の流れが早く、60歳を過ぎた私には、ついて行くのがやっとの今日この頃です。30年も前でした、青年学級の皆さんと佐渡の伝習農場に行き、五日も泊り、新穂村にて、蚊とハエのいない環境整備の進んでいる所と云うことで視察をさせて頂き、多くの人達と出会い、論じあった日も今は懐かし

## ひ ろ ば

負けた時の口惜しさがあればこそ、練習を積んだ上に道があります。やる気のある選手を集めて一生懸命です。初夏を迎えた体育には最良の季節、体を動かして健康を作り上げ、講習会等に出して頂き、何か掴んで来たいと思つて居ます。今日も、廃校になったグラウンドからゲートボールの賑やかな声が届いています。

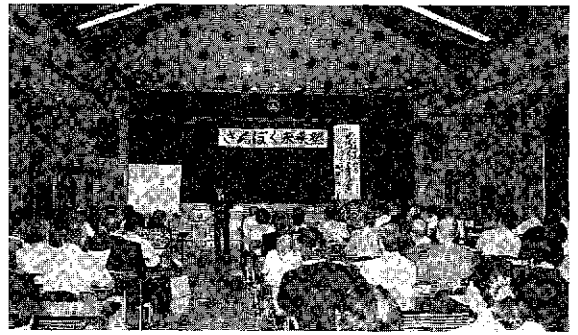
現在、公運審の一員としてお手伝いをしておりますが、最近では、公民館の事業の一つとして敬老会があります。20年前の者の70歳以上の方が、20年前の2倍からなり、会場等の問題で喜んでばかりいかなく、困ることもあります。今後どこまで多くなつて行くことかと思ひ、考えさせられます。ちなみに私の家庭も、三世帯9人家族の大世

# 機関との連携

## 15分科会発表要項より

# 未来塾

### 館長 本間 彰



### 心のかよう町づくり条件

1、地域概況  
 山北町は新潟県最北端の県境に位置し、隣は道一本で山形県です。  
 海、川、山の自然に恵まれており、日本海沿岸26kmの内約11kmは、「笹川流れ」という景勝地で、国の名勝および天然記念物に指定されております。  
 総面積は286.09km<sup>2</sup>、内95%が山地で、人口は8,366人(12・4月末現在)です。  
 昭和30年に旧5カ村が合併して現在の山北町になったのですが、合併時は15,600人で約半減、過疎化が進み、現在も続いております。併せて少子、高齢化も進行しております。  
 基幹となる産業は、第一次産業で、総面積2万ha以上の面積に支えられる林業は、県下有数の素材生産を誇っております。また、漁業も盛んで、県営漁港1港のほか4つの漁港を有し、漁獲量は県内でも上位に位置しています。

近年、「笹川流れ」や、恵まれた自然を生かした観光にも力を入れており、数々のイベントにも取り組んでおります。  
 公民館は山北町公民館のもとに、各集落毎に集落公民館があり、その数37館で、それぞれコミュニティセンターを持ち、地域性を生かした活動を展開しています。  
 2、山北町における生涯学習の取組み  
 具体的な取組み報告の前に、山北町の生涯学習の取組み(経過と現状)について簡単に触れておきます。  
 (1)生涯学習の位置づけ  
 山北町は、生涯学習の推進を行政施策の大きな柱として取り組んでいます。  
 日々進む「過疎化」「高齢化」の中で、活力ある地域社会の実現のためには、ただ傍観者のな発想ではなく、一人一人が主体的に地域社会とかかわっていく姿勢を持つことが求められます。

そのためには、自発的意志に基づく主体的な学習活動を基本とする生涯学習は、最も有効な手法といえます。  
 山北町は、昭和63年度から生涯学習の基盤整備に取りかかり、「生涯学習推進計画」の策定、平成3年度からは、実践段階として生涯学習推進本部など推進組織を設置し、実践に移りました。  
 (2)生涯学習の町づくり宣言  
 平成7年度が、山北町の「合併40周年。町制施行30周年記念」の年にあたり、時代的節目を迎えることから、これまでの生涯学習基盤づくり事業の反省、評価の上に、町民一人が生涯学習の目的をしっかりと理解し、「明るく」「楽しく」「いきいき」とした町づくりを進めていくために、「生涯学習の町づくり宣言」を行いました。  
 全国で67番目。県内3番目でした。  
 (3)現在は「第2次山北町生涯学習推進中期実施計画」に基づいて推進中です。  
 この計画は、平成8年度から12年度までの5カ年間の年次の・具体的な実施計画を定めたものですが、策定・推進にあたっては、公民館職員が「県立生涯学習推進センター」へ出向き研修を重ねるなど、町行政と関係機関、団体との連携・協力・役割分担を図りながら進めております。

内容は、学習活動の領域を9項目に大別し、発達段階別の必要課題と、要求課題を織り込み、町民一人一人が「楽しく」「いきいき」と学習活動に参加できるように、各推進項目を実践目標に学習メニューを示し、各種講座を開設しています。  
 3、「さんぽく未来塾」の取組み  
 前置きが少し長くなりましたが、本題に入ります。  
 数ある講座の中で、主題にそった講座として、「さんぽく未来塾」の活動状況について紹介したいと思えます。  
 (1)講座の開設  
 講座開設に当たっては、先進的に取り組んでいる守門村と視察交流を行うなど、その内容充実を図りつつ平成9年度に、以下の目的に開設しました。  
 ①「町づくりは人づくり」を具現化する。  
 ②急激に変化する社会に、主体的に対応できる能力と判断力を養い、今日的課題について学習する。  
 ③行政課題の探求をとおして、行政各局・関係機関との連携を図り、山北町の生涯学習を推進する。  
 文字通り行政と町民が一体となって、町の課題と未来について語り合い、学習することを目的に、開設しました。今年で4年目になります。  
 塾の特徴は、町長が塾長、助役、収入役が副塾長(現在助役、収入役は不在)、そして事務局長には教育長というように、行政全体で取組みを行う所にあります。  
 (2)講座内容  
 開設講座は年6講座で、毎回土曜日の13:00から17:00の4時間です。



# 資料提供 公民館と行政

## 第41回関東甲信越静公民館研究大会第

### 「さんぽく 山北町公民館の取組み

#### 暮らしの中の環境問題

この未来塾は、開設の主旨・目的のところでも述べたように、「町づくりは、人づくり」を目標にして、町長を筆頭に、町(行政)と町民(住民)が垣根を外して意見交換(質疑、討論)をしています。各講座開設の都度、一般町民、取り分け生涯学習推進員、集落公民館関係者、他の生涯学習受講者に参加を求

4、取組みの成果と反省  
⑤講座終了後、ふりかえりシートを記入提出してもらおう。  
e t c

③講演後(講師の話の聞いた後)、講師を助言者にグループ討議を踏まえた意見交換。  
④地域おこし先進地の視察研修(ソバで町おこし)、福島県山都町で体験学習など。  
②課題について、分科会方式で出席者全員がグループ討議を行う。

①原則として受講生の自主運営とし、運営委員で当日の運営方法について決める。  
②講座について、分科会方式で出席者全員がグループ討議を行う。

平成11年度は第1回「心かよう町づくりの条件」問題提起、大滝町長」に始まり、最終の講座は「プラス思考の産業おこし」問題提起産業課長、企画観光課長」となっており、具体的学習方法は、次のように行っております。

①行政側にとって、「今、町の課題は」という町民に訴えたいことを、生の声で訴えることができる。また町民の生の声を、緊張感を持ちつつ行政に反映することができる。  
②受講生側としては、事前学習の司会・まとめ・発表、そして講座での総合司会等、受講生が分担して任務を受け持つことになっており、リーダー育成にもつながっている。  
③「ふりかえりシート」を提出することにより、毎回の成果・反省が把握できる。  
④「ソバ」による地域おこし」研修の実践が始まった。昨年度の「生涯学習町民フォーラム」では、試作栽培で収穫したソバで「ソバ打ち体験教室」の開催、また「ソバ粉」の即売。

⑤生涯学習推進員や、集落公民館関係者も参加することから、各集落公民館活動にも生かされている。  
e t c

②受講生側としては、事前学習の司会・まとめ・発表、そして講座での総合司会等、受講生が分担して任務を受け持つことになっており、リーダー育成にもつながっている。  
③「ふりかえりシート」を提出することにより、毎回の成果・反省が把握できる。  
④「ソバ」による地域おこし」研修の実践が始まった。昨年度の「生涯学習町民フォーラム」では、試作栽培で収穫したソバで「ソバ打ち体験教室」の開催、また「ソバ粉」の即売。

②受講生側としては、事前学習の司会・まとめ・発表、そして講座での総合司会等、受講生が分担して任務を受け持つことになっており、リーダー育成にもつながっている。  
③「ふりかえりシート」を提出することにより、毎回の成果・反省が把握できる。  
④「ソバ」による地域おこし」研修の実践が始まった。昨年度の「生涯学習町民フォーラム」では、試作栽培で収穫したソバで「ソバ打ち体験教室」の開催、また「ソバ粉」の即売。

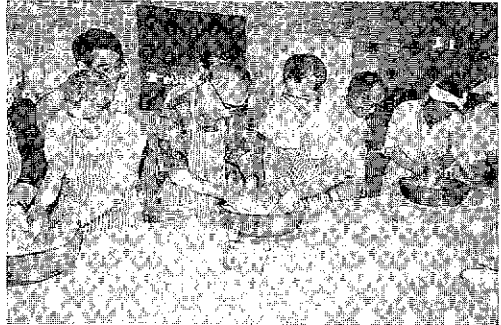
②行政に頼ることなく、自主運営を目指しているが、指導者・リーダーが得にくい。  
③生涯学習関係は、社会教育係任せということで、各講座を開設する上で主管課とのより密接な連携・協力が必要である。  
④学習の成果は、町民フォーラムなどで発表されているが、地域への還元が不足している、等等なのですが、「町づくり、人づくり」を目指し、行政と一体となり組んでいるわけですから、人材育成を図りつつ集落公民館活動を通して、いかに地域づくりに貢献するかが、常に求められる課題だろうと思えます。

#### 5、今後の課題

### 平成11年度 第6回(最終回)さんぽく未来塾次第

【日 程】	
1. 自主学習	13:00~13:50 グループ学習 テーマ:「私ならこう活かす!農林水産資源」 参加者全員
2. 開 会	13:50~14:00
3. 問題提起	14:00~14:30
1. 講話1	「どうする町の農林漁業」(現状と方向) 渡辺産業課長
2. 講話2	「観光産業は今」(現状と方向) 小田企画観光課長
4. 特別講演	15:00~16:00 「観光ワラビ園による地域おこしの取組み」 白い森の園「小園」・小園町森林組合常務理事 山口英彦様
5. 意見交換	16:00~17:00 テーマ:「産業を創造しよう」 ・グループ学習の成果発表及び意見交換 振り返りシート・反省・評価
6. 閉講式	17:00~17:20 ・修了証交付式 ・塾生代表挨拶 さんぽく未来塾運営委員長 菅原威治 ・塾長 講話 さんぽく未来塾塾長(町長) 大滝平正
7. 閉 会	

②行政に頼ることなく、自主運営を目指しているが、指導者・リーダーが得にくい。  
③生涯学習関係は、社会教育係任せということで、各講座を開設する上で主管課とのより密接な連携・協力が必要である。  
④学習の成果は、町民フォーラムなどで発表されているが、地域への還元が不足している、等等なのですが、「町づくり、人づくり」を目指し、行政と一体となり組んでいるわけですから、人材育成を図りつつ集落公民館活動を通して、いかに地域づくりに貢献するかが、常に求められる課題だろうと思えます。

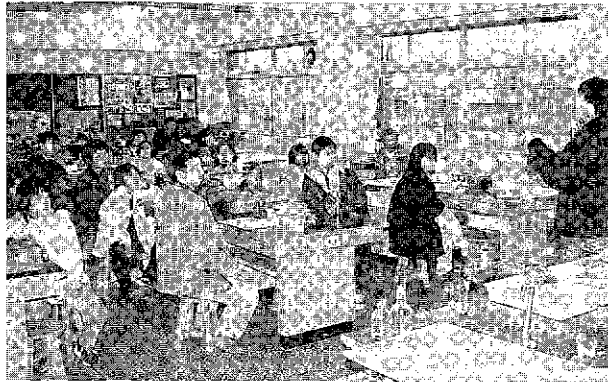


ソバで町おこし視察研修

# 実践記録シリーズ(45)

## 「親子ふれあいスクール」

栃尾市公民館  
主査 田 辺 保 夫



ミニクリスマスツリーをつくろう

二、事業展開  
平成11年度事業においては、①指導者の地域人材活用。②過去に取り組まれなかった新しい事業の実施。③参加者同士の

交流。以上3点に重きを置き実施した。  
①については、自発的にボランティア員として市内から集まった「あそびの達人」メンバーから年間2行事を指導してもらった。地域内に、こんな特技をもっている方もいるんだと再認識した親子も多かった。「うどんづくり」の指導者は子どもから見ればおばあちゃんなのだが、素朴な味のうどんと、親子で作ったという事で忘れられることの出来ない貴重な経験となったことだろう。

一、はじめに  
親と子のふれあい事業は多くの市町村で取り組まれ、栃尾市においても数年前から実施されている。  
「ふれあい」という言葉を開くと、何か気恥ずかしく参加し

づらいと思う親も多いらしく、少子化傾向に併せたごとく参加者は年々減少している。  
親子体験事業を実施している行政団体、民間団体は大変多くプログラムも体験型、参加型など多種多様であり、参加したいと思っている人にとつてはまたとない環境だと思



パンづくり

交流。以上3点に重きを置き実施した。

②については、なるべく地元に関連させた事業で新鮮な息吹を吹き込むため、地元在住の外国人から、パンブーダンスを紹介していただき、みんなで楽しんだ。今まで見たことも、聞いたこともないという方がほとんどで、真剣な表情で踊っていた。親子共々、お互いに日常では見ることが出来ない意外な一面を見出だすことが出来たのではないだろうか。

たこともないという方がほとんどで、真剣な表情で踊っていた。親子共々、お互いに日常では見ることが出来ない意外な一面を見出だすことが出来たのではないだろうか。

地域の核となる小学校が無くなる場所がある。地域での子ども会活動も会員数が少なくなり、身近な場所で親子同士のふれあう機会も少なくなりつつある。最近、青少年犯罪が多発しているが、家庭教育、青少年教育などは親子のふれあう機会の密度を増すほど効果が有り、健全なる社会の一片を公民館事業が担っているような気がする。今後はさらに、子どもと親に夢を持たせることの出来る事業展開を図りたいと考えている。

### 〔親子ふれあいスクールプログラム〕

No.	行事名	日時	指導者	場所
1	インターネット体験講座	6月16日(木) 19:00~	教育センター 佐藤和彦さん	おりなす2階
2	国際交流を楽しもう 「市内在住の方とエンジョイ」 「レクダンスを楽しもう！」	7月7日(木) 19:00~	レクダンス指導者 中之島町 田辺康弘さん	文化センター
3	木工教室 (プランター、ポストづくり)	8月1日(四) 9:00~	栃尾市木材組合	総合体育館
4	野外活動 「夏休み最後を楽しむツアー」	8月19日(木) 日帰り	ネイチャーゲーム指導者 井上真一さん	田上町、白根市
5	親子クッキングパートI 「うどんづくり」	10月8日(金) 19:00~	料理指導者 中村美江さん	青少年ホーム
6	親子クッキングパートII 「パンづくり」	10月23日(土) 13:30~	青少年ホーム講師 早野紀子さん	栃尾高校
7	演劇鑑賞 「劇団 猫」	11月28日(四) 13:00~	劇団「猫」指導者 高橋久美子さん	おりなす
8	ミニクリスマスツリーをつくろう (小さい瓶の中にツリーをつくる)	12月11日(月) 9:30~	教育センター 佐藤和彦さん	文化センター

# サークル交流

## 人間ってみんなほんと うに素晴らしい そう思える地域に

### 見附市つばさ

きっかけは「五体不満足」という本だった。この本から「人間って、みんな同じじゃないか。誰もが何へだてなく伸び伸びと生活できる、そんな地域にしたい。」という発想が生まれ、「つばさ」の会が誕生した。

会員は現在、老若男女22名。月二回公民館に集まり、差別の実態やハンディを持っていても前向きに生きている人の生き方



今年二月の講演会の中で行われた全員合唱の模様 (手話つき)

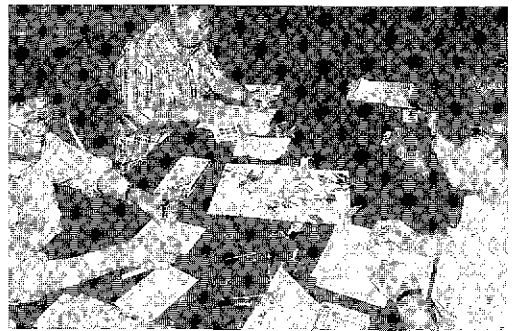
などを本やビデオなどから学び、語り合ってきた。また、今年二月、今町公民館の協力を得て、「心のバリアフリーを広げよう！」と題し、「阿賀に生きる」を撮影した小林茂氏の講演と映画上映を行った。今年度は、様々なイベントのお手伝いをしながら、暮れには障害がある人もない人も楽しめるコンサートを企画している。

この会のモットーは、とにかく何でも気軽に話し合ひ、「ダメ」という言葉は禁句にしている。これからもそれぞれの意見を大切にしていき、実行できることは何でも実行していきたい。

(つばさ代表 山崎 保一 記)  
心あつたか

### 絵手紙サークル

「友達は俳句を作って手紙をくれます。私はつまらない人間で何もできません。この年なので絵が描けるかどうか……。えしをしよと思ってきましたよ。」と、また一人仲間がふえました。今、十五名の会員数です。一人一人が学ぶ者であり、また指導者でもあります。絵も書も



なかなか思うようには描けません。が、「絵手紙は本当に楽しいな。」という仲間の集いです。

「うまく描けない」と誰かが言うと、「ヘタでいい、ヘタがいい」といいますよ。」「そうですよ。」「オンリーワン」が大事なんですよ。」と自分にも論しながら筆を走らせます。

持ちよった草花、果物、小物を見たまま、感じたまま自分らしく表現していきます。誰にも真似のできない素敵な絵手紙に心が踊ります。仲間を認めようとする言葉の交し合いが始まってお付き合いが深まっていきます。明るくあつたかな心がいた

だける幸せなひとときです。  
(三島町 絵手紙の会 坂田 隆子 記)

### 新潟市曾野木地区公民館

主任(主幹) 平田 栄子 さん

今年4月に曾野木地区公民館に超々強力な助っ人?が参上。我が公民館職員4名の要、平田主任を紹介いたします。

これまでに公民館や社会教育行政に10数年のベテランで、その時々には素晴らしい成果と輝かしい業績を残して来た。

前任の小針青山公民館は住宅・商業地の中にあり、利用団体も利用者もここ曾野木地



## 素顔 拝見

### 水原町教育委員会生涯学習課

係長 遠藤慎之介 さん

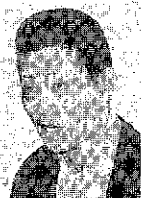
歴史文化係長を務める遠藤さんは、親切で物腰が柔らかく、歴史や文化財にとっても明るい人ですが、実はもうひとつ別の名前を持っています。その名とは、「三遊亭慎楽」

遠藤少年は、十三歳で「小さん」師匠にあこがれ入門を請いますが、諸般の事情により断念。高校では落研を創設し、卒業後各地の落語口演会で、前座や客演として師匠連と共演します。

そんな折、「三遊亭圓生」師匠の前座を勤めたことが縁とな

区よりも多く、さまざまな問題も多かったと想像される。そんな経験に基づき、どんなに小さな事にでも細やかな気配りを忘れずに、テキパキと仕事をこなしてゆく姿は実に頼もしい。本人曰く「気が小さいので、仕事が多まると気になって」と言っているがそんな風には見えない。ゆとりを持っていい仕事ができるよう応援したい。やさしく理解ある夫と大学・高校生の二人の母でもある。ちなみにイラストは高校生のお嬢さんの作品。

(新潟市曾野木地区公民館館長 前田 謙 記)



り、「円楽」師匠から「慎楽」の名を許され正式に一門

となりました。最近では、「円楽」師匠との二人会を開催したり、国立演芸場で「立川談志」「桂文治」師匠らとも共演したりしています。

その他にも、会社等の研修、PTAの講演会、小学校の歴史の授業などにも招かれて活躍しています。

(水原町教育委員会 松崎 敏博 記)

# 図 書 紹 介



岡本 薫 著  
勸全日本社会教育  
連合会刊

## 社会教育関係者のための マルチメディア時代の 著作権

「21世紀に生きる学  
びくびきスコアレプラン」生涯学習推進計画  
とガイドブックが惠送  
されて参りました。  
表紙のすばらしさにまず引き  
込まれました。解説によれば、  
水にきらめく太陽、21世紀の象  
徴を示す生涯学習社会への波及  
を表現とか。  
内容面でも、またすばらしさ



# ネットワーク

### 恵贈資料紹介

### 第二次生涯学習推進計画

## 21世紀に生きる学びくびき

## スコアレプラン

### 頸城村生涯学習推進本部

「21世紀に生きる学  
びくびきスコアレプラン」生涯学習推進計画  
とガイドブックが惠送  
されて参りました。

を感じさせてくれます。  
はじめに、頸城村の生涯学習  
発進に向けて、「共生と還元」を  
めざしたやさしさと思いやりの

あるまちづくりを設定。基本構  
想↓4つの重点目標↓12の重点  
施策↓24の具体的施策を体系的  
に示しております。  
紙面の都合で基本計画の内容  
紹介ができないのが誠に残念で  
すが、最後に実施計画について  
触れたいと思います。①学びあ  
いから④のかがやく未来に至る  
具体的な施策の実施年度が明確  
に示されていることです。

「これはチョットと著作  
権に触れそうですので、  
版権を持つ発行所にそれ  
なりの手続きを踏むな  
り、他のものに差し替え  
るなりして対応してい  
ただけないものでしょ  
うか。」

印刷所からの一報で当  
公民館月報も、避けて通  
れなくなつた著作権の問  
題があります。  
新聞記事の引用等では  
きちんと対応し、日付、  
新聞社名等表記してきた  
つもりですが、今後内容

高度情報化の中で、学  
習、研修の必要性多々。  
その他、内容としては、  
○避けて通れなくなつた  
著作権、○著作権とは何  
か?等、章毎に詳細に記  
述されているのが特徴。  
「よしかわわんぱくクラブ」  
公民館では、次代を担う青  
少年「心豊かなたくま  
よしかわっ子」の育成を  
めざして、家庭・学校・地  
域社会が連携し、総合的・相  
乗的な効果を上げることを  
ねらいとして「よしかわわ  
んぱくクラブ」を年八回取  
り組んでいます。  
(吉川町公民館記)

発行所 新潟県公民館連合会  
〒951-8053  
【新潟市川端町2-9・県林業会館内】  
【TEL・FAX (025)224-6073】  
発行人 会長 今井昭友  
編集人 事務局長 鈴木友夫  
【定価1部150円 年共1,800円】

### 「コシヒカリの郷」 子ども自然体験村IN六日町霧集のしおり

1. 事業の趣旨  
長期における異年齢集団の子ども達に、六日町の自然の中で農業体験や野外活動を通じ、自然の強さや相互協力の素晴らしさを実感させるとともに、その土地に生まれ育っている歴史・文化に触れる機会を設ける。
2. 主 催  
「コシヒカリの郷」子ども自然体験村実行委員会  
勸全日本ユースホステル協会
3. 後 援  
新潟県教育委員会、勸全新潟県ユースホステル協会 外
4. 協 力  
六日町ライオンズクラブ・魚沼新報社・FMゆきぐに 外
5. 実施期間  
平成12年8月1日(火)～8月15日(火) 14泊15日
6. 実施場所  
新潟県南魚沼郡六日町一帯及びその周辺
7. 参加募集対象  
小学校4年生から中学校2年生の男女計25名
8. 参加費  
68,000円
9. 申込み・問合せ先  
「コシヒカリの郷」子ども自然体験村実行委員会  
〒949-6637 新潟県南魚沼郡六日町小栗山1920-1  
六日町温泉国際ユースホステル内  
Tel 0257-72-2842 / fax 0257-73-2069

### あ と が き

### ◆ 関プロ大会分科会発表事前打合せ

◆ 県大会の方も、追込み段階に入つて参りました。何とか無事滞りなく終了することを祈るのみです。  
表紙解説  
「よしかわわんぱくクラブ」  
公民館では、次代を担う青少年「心豊かなたくまよしかわっ子」の育成をめざして、家庭・学校・地域社会が連携し、総合的・相乗的な効果を上げることをねらいとして「よしかわわんぱくクラブ」を年八回取り組んでいます。  
(吉川町公民館記)

◆ 関プロ大会分科会発表事前打合せ、50周年記念誌絡みの編集委員会が七月末から八月初めに予定されております。こちらの方も追込み段階に入りつつあります。  
(鈴木 記)